

# トレイルランニング大会の継続的な参加要因の検討

飯室旬理 (信州大学)

## 1. 目的

本研究はトレイルランニング大会参加者の参加動機を調査し、大会の継続的な参加要因と課題を明らかにすることを目的とする。同時にトレイルランニングの大会をよりよい大会となる方策について検討する。

## 2. 研究方法

### (1) トレイルランナー調査

調査対象:「武田の杜トレイルランニングレース」に参加した 729 名を対象に依頼し、アンケートの回答が得られたのは 180 名 (25%) であった。

調査方法・内容: 属性について 6 項目と大会参加動機、大会の満足度、大会への要望等、選択式と自由記述式による 21 項目を Google フォームを用いてアンケート調査を行った。

### (2) 大会主催者インタビュー調査

調査対象:「武田の杜トレイルランニングレース」大会主催者 1 名

調査方法・内容: 電話にてインタビュー調査を行った。トレイルランナー調査の結果を見ての感想と自由記述のコメントを見ての感想、大会側の意図についてインタビューを行った。

## 3. 結果及び考察

### (1) トレイルランナー調査の結果

トレイルランナー調査から、大会への参加動機が高い項目は、大会のレベル (コース設定、タイムなど)、大会開催場所 (甲府市)、大会開催日のスケジュール (12 月)、会場までのアクセス、体力・健康の向上のため、走ることが好きだから、達成感を味わいたいからの 7 項目であることがわかった。一方で参加動機が低い項目は、参加人数、参加賞、観光、家族の参加、有名なランナーの参加の 5 項目であることがわかった。

満足度については、ホスピタリティ (スタッフの対応、沿道の応援、エイド・給水所の充実) に関する満足度、大会の総合満足度・再参加意欲については高い割合であることがわかった。

大会への要望については、渋滞対策、参加人数の検討、エイドなどに関する意見がおおくあげられた。

### (2) 大会主催者インタビュー調査の結果

大会主催者へのインタビュー調査から以下の回答が得られた。

<トレイルランナー調査を見ての感想>

- ・大会の総合満足度が高くてよかった。
- ・質問項目である「山梨県 (甲府市) の観光を楽しみたいから」の割合が低くて少し残念。
- ・来年も参加したいと考えている割合が高いことから、甲府市にくるきっかけづくりの大会にできたと思う。

<自由記述を見ての感想>

- ・全体的に大会に関する肯定的な意見や満足しているという意見が多くてよかった。
- ・山梨県や甲府特有の観光色を大会に反映することで、参加者が満足したという意見が多くてよかった。
- ・エイド・給水所の充実、渋滞に関すること、ゴール後に関することの 3 つのことにに関して要望がおおかったことから課題であると感じている。

### (3) 考察

参加動機が高い項目は、この大会の強みであるため継続していくと同時に、魅力度を増すためによりブラッシュアップをすることが必要である。参加動機が低い項目や要望がおおかった意見については、本大会の課題であり改善の余地があると言える。継続的なトレイルランニング大会の参加を目指す上では、参加者に高い満足度を感じ取ってもらう必要があり、本大会での課題を改善することで、よりよい大会につながると思う。

調査結果を踏まえ、参加動機が低い項目に焦点をあて、本研究が対象とした大会がよりよい大会となる有効策は以下の通りである。

○ウェーブスタートを検討する

○山梨の観光地やお店で使える商品券を、参加賞として配布する

○大会の開催日を土曜日にする

○ロング、ショート、キッズ等のコースを作る

○ホームページや SNS 等で積極的に告知する